

ソーシャルワーカーデー2023

SOCIALWORKER
たちからのメッセージ



「よりそい」の プロになる

人々の暮らしを守り、支えている専門職はたくさんいます。

この冊子では、その中から福祉の仕事に関わる

“ソーシャルワーカー”にスポットを当てて紹介します。





この冊子では、「人々の暮らしを守り、支える」ソーシャルワーカー(精神保健福祉士、介護福祉士、社会福祉士、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員)の仕事内容などを紹介します。職業選択の際にぜひご活用ください。

ソーシャルワーカーデー

Social Workers Day!

ソーシャルワーカーってどんな人だろう？
どんな仕事をしているのかな？

そういうことを、たくさんの人に知ってもらうため、
47都道府県でそれぞれ試行錯誤をしながら、
いろんな企画を実施しています。この冊子もその一環。

「将来、福祉の仕事もいかなって思うけど
実際、どんな感じなんだろう？」という人や、

「あの時、出会ったあの人は
ソーシャルワーカーだったの？」という
気づきになれば、嬉しいです。





精神保健 福祉士



一人ひとりの希望や状況を
聴きながら、困ることについて
一緒に解決の方法を考え、
自分の力で解決できるよう
支援を行います。
人生に関わる職業ですので、
慎重に物事を考えたり、
計画を立てること、また時には
大胆な発想をしたり、行動を
起こすといったバランス感覚を
大切にしています。

◎働いている場所

精神科病院、診療所、行政機関
障害福祉サービス機関
保護観察所、教育研究機関
一般企業の特例子会社 など

想像力	★★★★★★
聴く力	★★★★★★
調整力	★★★★★☆
優しさ	★★★★☆☆
情報収集力	★★★★★★

※SWD担当者個人の見解です

「人は変われるということ、
変われるようにサポートする」と。

「やりがい」

人とかかわる仕事なので、
かわった人が楽しそうに生
活している姿や、頑張っ
てみようと一歩踏み出そうと変わ
る姿が見られることです。

また、自らの専門性や専門
職としての役割をとおして、
様々な現状に変化を起こすこ
とができることはソーシャル
ワーカーの魅力です。

「こだわり」

見えにくい病気・障がい
を理解してサポートすること
は、患者・障がい者だからと分
け隔てるのではなく、地域社
会の一員として社会参加して
いくにはどうするかという視
点を持つことです。

また、人は変わることがで
きるということを信念に、目
の前の人が自分自身で変わる
ことができるようにサポート
していきます。専門職という
形にこだわりすぎない視点も
大事です。

「知ってほしい」

「福祉＝慈善事業」ではな
く、専門性を持った仕事であ
るという視点や、対人援助で
の誠実さや謙虚さなどの当
たり前の部分を忘れないこ
とは大事です。

思ったとおりにはなりま
せんが、行動したとおりには
なりません。また「してあげる」
のではなく、「できるように
見守る」姿勢が大切です。
精神科医療機関以外にも
活躍の場が広がっています。



高齢者の方や障がいを持つ方々の日常生活を支援していく中で、「ありがと」と感謝されたり、「最後に出会えてうれしかった」「生きていてよかった」という言葉や笑顔が私たちの喜びでもあり、誇りでもあります。そして、人の役に立っていると実感できたときに、やりがいを感じます。

「やりがい」

「さまざまな現場とつながってこそ、技術、経験、個性が生きる現場。」

「こだわり」

「高齢になっても、障がいを持つっていても、その人らしい生き方をするにはどのようにサポートできるか」「どうすればこの人の生活の質を上げられるか」その人が持っている力・できることを理解したうえで、支援をどのようにしていくか：介護サービスを利用して「本人」を中心に考え、介護を進めていきたいと思っています。

「知ってほしい」

「介護Ⅱ排泄・食事・入浴等の介助」をイメージしがちですが、それは介護の入り口にすぎません。介護の中で表情や態度、交わす言葉により相手を理解し、関わることで気づきがあります。それによりコミュニケーション力を身につけていきます。家族以外の一番近い支援者として、その人らしい生活を実現するために支援しています。

介護福祉士

介護が必要な人の身の回りの世話や、自立を支援することが仕事です。具体的には身体介護や生活支援を行っています。介護が必要な人だけでなく、その家族の相談に乗り、アドバイスをすることも。介護の専門知識と技術を持ち、介護職の中でもリーダー的な役割を担うこともあります。



◎働いている場所

障害児・者福祉サービス事業所
高齢者福祉サービス事業所
訪問介護事業所、病院 など

体力	★★★★★★
根気力	★★★★☆☆
コミュニケーション	★★★★☆☆
ユーモア	★★★★☆☆
洞察力	★★★★☆☆

※SWD担当者個人の見解です



人だけではなく、家族や地域社会、制度に介入して、さまざまな困りごとを解決できるように支えていきます。福祉の何でも屋なところもありますが、だからこそいろいろなことを知ることができ、さまざまな勉強になります！座学の勉強というより、生きていく上で必要な新たな知識を得ることができます。

困りごとを解決するのは私たちではありません。困っている人が自ら解決できるように、さまざまな制度やサービスをつなげ、支えていきます。社会福祉士はあくまでも黒子です。目立たないかもしれませんが、一人ひとりの人生に関わる大切な仕事。その人らしさを理解し、その人らしい人生を送れるよう、お手伝いに徹しています。

社会福祉士は相談援助の専門職です。相談対応をする仕事ですから、お話が上手で人見知りなどせずに話ができる人が向いている、と思われるかもしれませんが、実は人見知りの人にも向いている職業です。なぜかというと、人見知りの人は、相手の様子をよく見ていて、些細な変化にも気づくことがあります。その繊細さが、丁寧な支援につながります。

「やりがい」

「こだわり」

「知ってほしい」

「支援が必要な人の近くに
いるからこそできることを、もっと。」

社会福祉士

社会には身体的・精神的な障がいや高齢、貧困などで日常生活を送るのが困難な人たちがいます。そのような人たちの問題解決を福祉面から支援します。福祉サービスが必要な人の相談を受け、他機関と連携し支援につなげていきます。



◎働いている場所

児童相談所、福祉事務所
障害福祉サービス事業所
高齢福祉サービス事業所
地域包括支援センター、病院
学校、児童福祉サービス事業所
刑務所 など

協	調	性	★★★★☆
傾	聴	力	★★★★☆
連	携	力	★★★★☆
創	造	力	★★★★☆
倫	理	観	★★★★★

※SWD担当者個人の見解です



現場では病気や障がいと共に生きる人たちの、想像を超えたさまざまな人生のほんの一瞬に立ち合います。出会う人は人それぞれ、一人として同じ支援はなく、マニュアルもない仕事。だからこそ「関わり」によってソーシャルワーカーならではの支援が生まれます。関わることでよりよく変わっていく「人と環境」、つながることで「守れる笑顔」、それこそがやりがいです。

「こだわり」
Social Wellbeing その人がその人らしく社会で生活していけることを支援します。医療者中心に進みがちな医療現場で、患者が主体になって考え、その人の望むその人らしい生活を取り戻せることを大事にします。不安な気持ちを支え、困りごとを整理し、社会福祉サービスと結びつけながら支援します。

「知ってほしい」
病院は医療専門職の集団です。けがや病気のことはその方たちが考えてくれます。でも、退院後の生活や残った障がいのこと、介護のことは解決されません。そこで、**唯一の福祉専門職**である私たちが、患者さんと家族の生活や退院後の過ごし方、介護の問題、経済的な問題などを解決するお手伝いをします。

「生と死に向き合う医療現場で、その人らしく生きる権利を守る！」

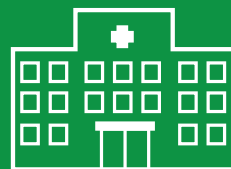
「やりがい」

「こだわり」

「知ってほしい」

医療 ソーシャル ワーカー

保健医療機関で社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰のお手伝いをしています。

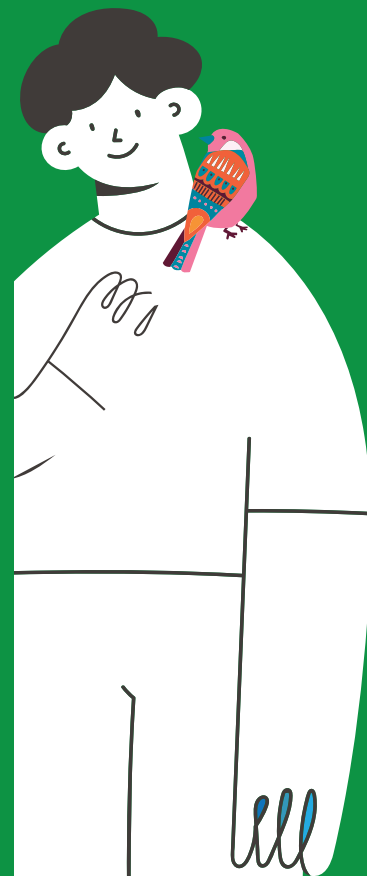


◎ 働いている場所

病院、介護老人保健施設、クリニックなど

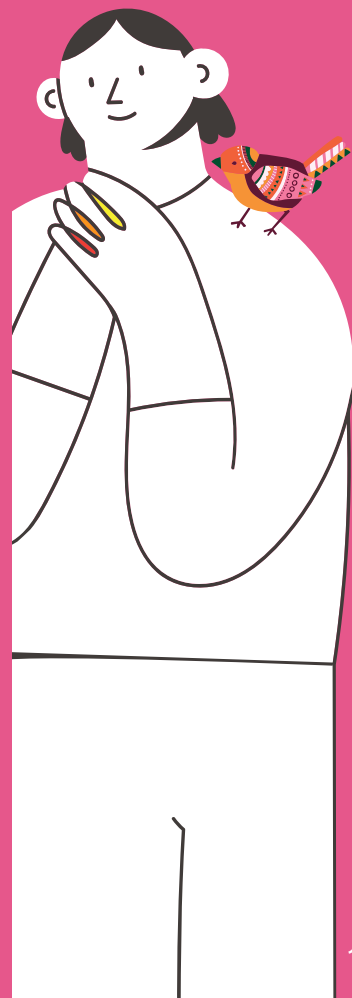
対話力	★★★★★☆☆
知力	★★★★★☆☆
機動力	★★★★★★★
交渉力	★★★★★☆☆
調整力	★★★★★★★

※SWD担当者個人の見解です





介護支援 専門員 (ケアマネジャー)



介護保険法に基づき
要介護・要支援に認定された方の
ニーズや身体状態・
生活状況に応じた
介護サービスや他の社会資源の
利用ができるように、
ケアプランの作成などを行い、
住み慣れた地域で
可能な限り尊厳ある生活を
継続できるように支援します。

◎働いている場所

居宅介護支援事業所
地域包括支援センター
行政機関、介護保険施設 など

体力 ★★★★★☆
状況把握力 ★★★★★☆
課題発見力 ★★★★★☆
妄想力!? ★★★★★★
働きかけ力 ★★★★★☆

※SWD担当者個人の見解です

「人と人がつながる仕事。
人と人をつなげる仕事。」

「やりがい」

介護保険制度という枠組み
の中で、これから誰が必要
とするであろう「介護」をマネ
ジメントする「制度の要」と言
われる職種です。

介護支援専門員が果たす
役割は大きく、介護が必要に
なっても、誰もが豊かな老後
生活を送っていただけのよ
うサポートする。それが私た
ちに与えられたミッション
です。

「こだわり」

私たちは、自分自身の考え
や価値観にこだわるのでは
なく、介護や支援を必要とす
る方々やそのご家族の「こだ
わり」に目を向け、耳を傾け
ます。

思い描かれる「望む暮らし」
の実現に向けた支援を行う中
で個別のニーズにしっかりと
向き合い、専門職として、その
「こだわり」をカタチにしてい
く。それが私たち介護支援専
門員のこだわりです。

「知ってほしい」

障がいを持った方や介護
を必要とする方々が、「望む
暮らし」を続けていくことが
出来るよう、また、その方が
本来有する能力を引き出し、
主体性を持った生活が出来
るように支援することが、私
たち介護支援専門員の果た
す大きな役割の一つです。
他の専門職とつながり、と
もに取り組むことで支援の
輪を拡げます。



人生に 寄り添うソーシャルワーカー



介護をするうえで、まずその人を知らなければなりません。

この人が、今までどのような人生を送ってきたのか、どんな夢を持っていたのか、どのような性格の人なのか、今はどうなのか等々、ということとを日常生活支援（介護の現場）でコミュニケーションをとりながら探っていきます。

例えば、認知症状のある方は、今現在のことはなかなか理解されていなくても、昔のことはよく覚えておられることが多く、今現在と昔とが混在している場合があります。

そのような方に対して、「訳が分からない」と決めつ

けてしまうのではなく、その人の見えていること、感じていることを一緒に感じ取っていくことが大切です。その人の生活に入り込んで情報を集めていかなければ、その人に必要な介護・支援はできません。

誰もが自分の生活に人生に生き方に入ってきてもらいたくないことでしょう。しかし、私たちが少し関わることでその人らしい人生、生活が維持できれば素敵なことです。

だから、私たちソーシャルワーカーは、その方の人生に少しお邪魔しながら、支援を続けています。

ソーシャルワーカーは 名探偵!?

病院には、本人が話をできず、自分を示すものが何もない方が救急車で運ばれることがあります。ソーシャルワーカーは患者さんが適切な医療を受けることができるよう、お名前や住所の確認、家族連絡のお手伝いをすることがあります。

例えば、スーパーで買い物中に意識がなくなり倒れた人が救急車で病院に運ばれてきました。所持品は現金とポイントカードのみ。それをもとにスーパーや市役所に問

い合わせ、名前と生年月日、健康保険の加入がわかりました。さらに、日ごろからのつながりを生かし、地域の関係機関に介護の相談歴等がないか確認し、住所がわかり、家族に連絡を取ることができました。でもこれはほんのプログ。実は、ここからが「名探偵」としての本領発揮。本人の思い、病気や後遺症、家族、お金…いろいろな事柄を探ってつなげて考えて、本人の「幸せさがし」を手伝います。



ソーシャルワーカーエピソード! SW Episode



あなたが思い描く仕事の報酬とは何でしょうか？

ある経営学者は、本当に大切なものは、金銭的対価や地位や名誉ではなく、「目に見えない報酬」であると結論付けます。

私たちソーシャルワーカーは、その「目に見えない報酬」を得ることが出来る、最も恵まれた職業であると言えるかもしれません。それは、生きていく上で必要な新たな知識であり、現状に変化を起こすことが出来る専門性や専門職としての役割であり、社会的ミッションを実感することができるやりがいい、そして「ありがとう」という支援に対する感謝の言葉。

これからはAI（人工知能）が様々な場面において、社会を大きく変えていくことでしょう。

例えば、モニターに映る表情で、その感情を推測し、瞬時に最適な言葉でその人に語りかけることでしょう。笑顔の人には、それとなく楽しい出来事を聞き出すことが出来るかもしれません。

でも、**私たちソーシャルワーカーに求められるものは、その笑顔の奥にあるかもしれない隠された苦しみや、必死にこらえようとする悲しみに目を向けること。**

つながることで「守れる笑顔」がある。

私たちソーシャルワーカーの存在意義がそこにあります。



ソーシャルワーカーたちからのメッセージ



ソーシャルワーカーは見た！人は変われると、こころを

精神科病院には30年、40年と長期で入院をしている患者さんも珍しくありません。この冊子の分量では書ききれないくらいの歴史や制度の移り変わりにより、入院を強いられることになった人も大勢います。

ここ数十年で退院に向けた動きが大きくなっています。が、安定した入院環境からの変化に不安を感じる患者さんや退院する意欲を失っている患者さんも多くいます。

そのような状況ではあります。が、同じ環境を経て退院した患者さんとの交流などを通じて、病院以外の生活

のイメージを膨らませながら、少しずつ退院へ向けて動き出す患者さんもいます。

日々の中で見ると小さい変化に見えますが、その積み重ねが結果的に大きな変化につながっていきます。また、その患者さんが他の患者さんの人生にも大きな影響を与える立場になっていることも珍しくありません。

精神保健福祉士は、患者さんの気持ちに寄り添いつつ、安心して自分の歩調で進むことができるようにお手伝いをしています。

5つの専門職について、更に詳しく知りたい方は
QRコードからホームページもご覧ください。

■ 兵庫県社会福祉士会

社会福祉士は、相談援助の専門職です。
あなたの生活を支え、守ることを目指しています。

神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター3F
TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340



■ 兵庫県介護福祉士会

介護福祉士は、介護技術をもって、その人らしい、
その人の望む生活・自立を支援します。

神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5F
TEL:078-242-7011 FAX:078-242-7033



■ 兵庫県精神保健福祉士協会

精神障害者の社会的復権と福祉のための専門的・
社会的活動を進め、精神保健福祉の増進に寄与する
ことを目指します。

神戸市中央区中町通3-1-8 ライオンズステーション
プラザ神戸507号 TEL・FAX:078-362-8920



■ 兵庫県介護支援専門員協会

相談面接援助職として、高齢者の尊厳ある
自立した日常生活を支援します。

神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5F
TEL:078-221-4102 FAX:078-221-4122



■ 兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

医療・保健分野で働く福祉の専門職です。
生活者目線で、患者・家族に寄り添った支援をします。

西宮市武庫川町1-1 兵庫医科大学病院
認知症疾患医療センター内 TEL:0798-45-6050



先輩ソーシャルワーカーのインタビュー動画、
視聴できます!!

今、まさにさまざまな現場で働いている

- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 精神保健福祉士
- 介護支援専門員
- 医療ソーシャルワーカーに

「仕事の内容」や「やりがい」などを
お話いただきました。



高校生にも意見をもらいながら冊子を作成しました。

この冊子は、兵庫県立日高高校福祉科(豊岡市)の生徒さんからも意見をもらい、“わかりやすい表記はどんなものか”、ということを検討しながら作成しました。Zoomミーティングを利用して、意見交換をし、みなさん熱心に、また丁寧に一つひとつの文言について考えてくれました。ご協力ありがとうございました!



向かって右から、福祉科 3年生
次田未来さん・田中樹里さん・山口宗真さん・
川濱優花さん・西藍香さん